

タイトル	日本とチベットの宗教の差異 ——仏教と土着宗教の関係性に注目して——		
所属	南山大学人文学部人類文化学科（藤川ゼミ）	氏名	三井柚奈



## ①日本の宗教とチベットの宗教

## ②日本とチベットの各宗教への認識

### 日本の宗教

#### 土着宗教＝神道

- 明快な教義はない。
- 伊勢神道や吉田神道が登場するまで何も整理されていない。
- 開祖なし。
- 多神教。



＝世界史的観点から見て如何にも  
駆逐されそうな宗教の特徴有

#### 仏教

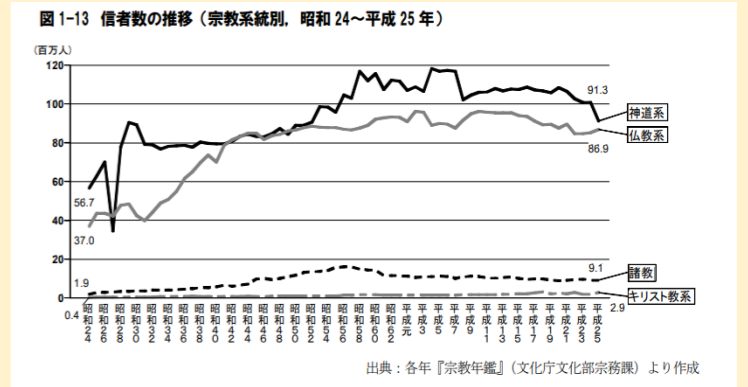
- 中国仏教の影響・派生。
- 基本整然とした組織がある。
- 大乘仏教。
- 宗教改革者の存在。  
(＝浄土真宗の最大宗派化)



### 日本の神道・仏教信者（？）

#### 神道と仏教にあまり 区別をつけていない

- 91.3%が神道信者。
- 86.9%が仏教信者。
- 現在仏教宗派の違いはあまり気にしない。

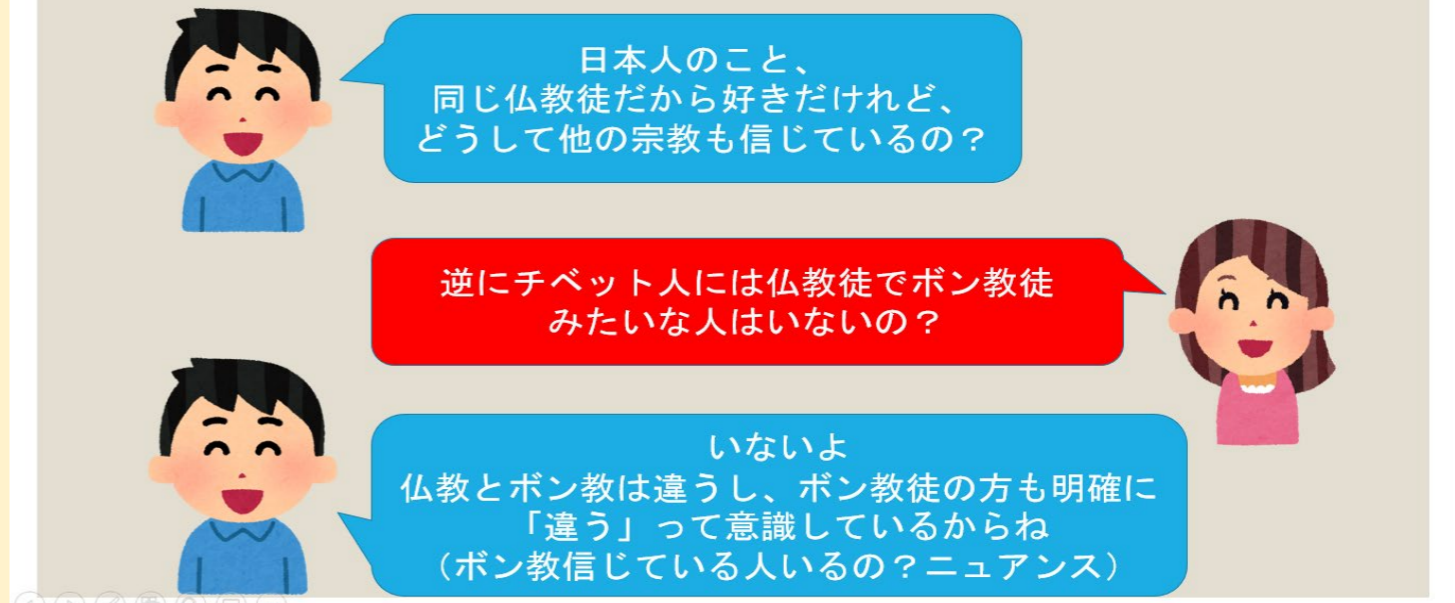


昭和56年以降から最近まで、神道系の信者数は1億人を超え、仏教系の信者数も8,000～9,000万人台を維持している。全ての宗派を合計すると、日本の総人口をはるかに上回ることになるが、複数の宗教団体への重複所属などが一般的に見られ、宗教団体への帰属意識が薄い人々も「信者」に数えられている場合もあることなどが反映していると思われる。H26年文化庁『宗教関連統計に関する資料集』

### チベットのボン教・仏教信者

#### あるチベット人との会話（INラサ）

・チベット人は仏教と他の宗教を併存しないものと考えている



#### ＝ボン教徒はボン教徒、仏教徒は仏教徒

- 圧倒的 majority が仏教徒。
- ボン教徒はごく少数。
- ボン教を奨励した古代の王は「大悪」と認識され、仏教徒の王は「聖王」と認識される。
- ボン教徒と仏教徒の戦争においてボン教徒は怪物のように描かれる。
- 現在仏教徒がボン教徒を排斥することはない。
- 現在仏教徒は宗派の違いをあまり気にしない。  
(「ダライ・ラマ（ゲルク派）は太陽、パンチェン・ラマ（ゲルク派）は月、カルマパ（カルマ・カギュー派）は星」)



日本人とチベット人で宗教に対して  
似ている認識と全く別物の認識がある

### チベットの宗教

#### 土着宗教＝ボン教

- 仏教流入以前の土着宗教の伝統を受け継ぐ。  
(ユンドゥン・ボン教団)
- 開祖はシェンラブ。
- 独自の経典・教義有り。
- チベット各文化に影響を与える。



#### 仏教

- インド仏教の影響。
- 大乘仏教。
- 化身、高僧の重視。
- 宗教改革者の存在。  
(＝ゲルク派の最大宗派化、ダライ・ラマの聖俗支配)



## 卒論では ③チベットでは「仏教」と「土着宗教」が併存せず、 日本では「仏教」と「土着宗教」が併存した理由を探る

○それぞれの仏教の導入経緯に答え有り？

○「遊牧的にはっきりした」チベット文化と「曖昧な」日本文化に原因有り？  
(例：菅原道真、八幡大菩薩などの特殊で曖昧な神の存在)

○それぞれの仏教の在り方に差異有り？

○日蔵の歴史の違いに原因あり？

○それぞれの土着宗教の在り方に答え有り？

注！日本人の信仰心が薄いから「適当でいいや」と土着宗教・仏教の両方が残ったわけではない

ご意見有ればよろしくお願いたします